

# 平成30年度 定期作況報告

(10月20日現在)

北海道立総合研究機構 農業研究本部

畜産試験場

## I 気象概況

9月下旬：平均気温は11.5℃で平年並みであった。降水量は28.0mm（平年比96%）で平年並みであった。

日照時間は33.0時間（平年比69%）でかなり少なかった。

10月上旬：平均気温は10.6℃で平年並みであった。降水量は105.0mm（平年比227%）でかなり多かった。

日照時間は38.2時間（平年比86%）で平年並みであった。

10月中旬：平均気温は7.6℃で平年並みであった。降水量は13.5mm（平年比38%）でやや少なかった。日照

時間は45.8時間（平年比88%）で平年並みであった。

以上のことから、本期間は平年と比較して気温は平年並み、降水量はやや多く、日照時間はやや少なかった。

	9月下旬			10月上旬			10月中旬		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温（℃）	11.5	12.1	△0.6	10.6	10.2	0.4	7.6	8.1	△0.5
最高気温（℃）	15.9	16.8	△0.9	16.4	14.9	1.5	13.1	13.0	0.1
最低気温（℃）	7.5	7.3	0.2	5.5	5.5	0.0	2.8	3.3	△0.5
降水量（mm）	28.0	29.1	△1.1	105.0	46.3	58.7	13.5	35.5	△22.0
降水日数（日）	6	4.1	1.9	8	4.7	3.3	4	4.3	△0.3
日照時間（時間）	33.0	47.7	△14.7	38.2	44.5	△6.3	45.8	51.9	△6.1

注1) 各数値は旬の平均または合計。△は減を示す。

注2) 平年値は前10か年の平均値。

## Ⅱ 作 況

### 1. 牧草 採草型チモシー

3 番草作況 : やや不良

1～3 番草通算作況 : 平 年 並

事 由 :

<3 番草>

3 番草の刈取りは平年より 1～2 日早い 10 月 10 日に行った。乾物収量の平年比は 2 年目草地在 94%、3 年目草地在 91%と、いずれも平年をやや下回った。

以上のことから、3 番草の作況は「やや不良」である。

<1～3 番草合計>

1～3 番草合計の乾物収量は、2 年目草地在 1089.4kg/10a (平年比 102%)、3 年目草地在 890.7kg/10a (平年比 95%)、両草地の平均は 990.1kg/10a (平年比 99%) であった。

以上のことから、1～3 番草合計の作況は「平年並」である。

調査項目	2年目草地			3年目草地		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
3番草収穫日(月・日)	10.10	10.12	△2	10.10	10.11	△1
生育日数 (日)	68	68	0	68	69	△1
収穫時草丈 (cm)	43	53	△10	38	48	△10
生草収量 (kg/10a)	732	645	87	432	421	11
乾物率 (%)	20.8	25.5	△4.7	24.8	27.9	△3.1
乾物収量 (kg/10a)	151.8	161.3	△9.5	107.2	117.8	△10.6
同上平年比 (%)	94	100	△6	91	100	△9
1～3番草合計						
乾物収量 (kg/10a)	1089.4	1065.3	24.1	890.7	937.1	△46.4
同上平年比 (%)	102	100	2	95	100	△5

注 1) 平年値は2年目草地在前6カ年のうち最凶年(平成29年)を除く5カ年の平均値、3年目草地在前5カ年の平均値。

2) △は早または減を示す。

## 2. サイレージ用とうもろこし

作 況 : 不 良

事 由 : 播種は平年より2日早い5月16日、発芽期は平年より3日早い5月27日であった。6月からの低温寡照の影響で生育は遅れ、7月の草丈、葉数はいずれも平年値を大きく下回った。生育は絹糸抽出前後からやや回復し、雄穂開花期は平年より1日早い7月31日、絹糸抽出期は平年より1日遅い8月1日であった。しかし、8月の稈長は215cmで平年値の標準偏差の2倍を大幅に下回った。収穫期は平年より4日遅い9月21日、収穫時の熟度は黄熟初～中期であった。茎葉、雌穂、総体の生草収量は対平年値比71、89、77%で、標準偏差の2倍を超える低収であった。一方、9月上～中旬の好天により登熟は進み、乾雌穂重割合、総体乾物率は平年より高い傾向であった。最終的に、総体および雌穂の乾物収量、並びに推定TDN収量は、対平年値比でそれぞれ84、85、84%となり、いずれも標準偏差の2倍を超える低収であった。

以上のことから、本年の作況は「不良」である。

調査項目	本年	平年	比較	平年比	
播種期(月.日)	5.16	5.18	△ 2	—	
発芽期(月.日)	5.27	5.30	△ 3	—	
草丈(cm)	6月20日 7月20日	38 134	33 164	5 △ 30	— —
稈長(cm)	8月20日	215	276	△ 61	—
葉数(枚)	6月20日 7月20日 8月20日	6.6 13.6 15.4	6.0 14.3 16.1	0.6 △ 0.7 △ 0.7	— — —
雄穂開花期(月.日)	7.31	8.1	△ 1	—	
絹糸抽出期(月.日)	8.1	7.31	1	—	
収穫期(月.日)	9.21	9.17	4	—	
収穫時熟度	黄初～黄中	黄初～黄中	—	—	
総体生草収量(kg/10a)	4,277	5,582	△ 1305	77%	
総体乾物収量(kg/10a)	1,329	1,583	△ 254	84%	
雌穂乾物収量(kg/10a)	759	889	△ 130	85%	
乾雌穂重割合(%)	57.1	56.1	0.9	—	
総体乾物率(%)	31.1	28.4	2.7	—	
推定TDN収量(kg/10a)	977	1,160	△ 183	84%	

注 1) 平年値は前7カ年のうち最豊年(平成26年)、最凶年(平成28年)を除く5カ年の平均値。

2) △は早または減を示す。

3) 供試品種は「チベリウス」。